

## 提出された意見の概要及びこれに対する本市の考え方 【北九州市子ども読書プラン(素案)】

### 【意見の内容】

- 1 プランの趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 プランの今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 プランの内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

### 【意見の反映結果】

- ① 掲載済み(一部掲載を含む)
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし(今後の参考等とする)
- ④ その他

NO	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
<b>「プラン全般」に関するもの</b>				
1	読書活動推進に関するこれまでの取組みの成果と課題がしっかりと踏まえられた新しい読書プランである。特に、不読率が全国平均に達していないこと、1カ月あたりの読書冊数が伸び悩んでいること等に対する、「3つの方向性《ミッション》」は、的確で分かりやすい。	ご意見ありがとうございます。	1	④
2	子ども読書プランを見たが、関係各機関での施策が具体的で手厚く、期待の持てる内容である。	ご意見ありがとうございます。	1	④
3	「子ども読書」という名前を「市民読書」「本好き北九州」など市民全体で取り組む名前にしてはどうか。	ご意見のとおり、子どもの読書活動を推進するには、大人も含めた市民総体となった取組みが欠かせないと考えます。ご意見を踏まえ、「～市民全体で取り組む子どもの読書～」をサブタイトルとして追加しました。	3	②
<b>「読書の意義」に関するもの</b>				
4	「言葉の力をつける」「疑似体験」「知識の獲得」という点でも読書は大切だと感じる。学校では、時間の設定や環境整備を含め、学校図書館職員の活用を図っている。その制度の継続をお願いしたい。	学校図書館職員については、学校図書館の利活用など、学校における読書活動の推進を行う上で、欠かせない存在です。今後も学校長、司書教諭、学校図書館職員などの連携強化・資質向上等を図っていきます。	2	①

NO	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
「目指す姿」に関するもの				
5	<p>「子ども読書プラン(素案)概要」のビジョンに「すべての子どもが、日々の生活の中ですすんで本を手にとって読み、子ども同士や家族などと楽しく語り合う日常」とあった。家庭で話すということは、大人が子どもと共通の本を読むということが必要である。子どもは、「自分で選んだ本を読みたい」と思うので、大人は「子どもが選んだ本を読む」必要があるのではないかと。</p>	<p>ご意見のとおり、家族で同じ本を読んだり、感想を話し合ったり、本を通じてコミュニケーションを図る「家読(ファミリー読書)」が重要であると考えます。</p>	2	①
「3つの方向性」に関するもの				
6	<p>不読率を改善するには、すべての授業の一定の時間を使って、図書館を使用し、参考文献を選ばせそれを読み合うことで、授業を進めれば良い。</p>	<p>ご提案の取組みも含め、学校における読書活動の推進を図り、不読率の改善に結びつけていきたいと考えています。</p>	2	①
7	<p>アンケートで「読書がきらい」や、不読率が高い子どもたちは、本を選ぶことに難しさを感じていると思われるため、サポートの機会を増やすべき。</p>	<p>市立図書館や学校図書館において、子どもの本選びをサポートできるよう、レファレンス機能の充実を図っていきます。ご意見を踏まえ、「(2)学校における読書活動の推進」の「①学校図書館・学校図書館職員の利活用の促進」の本文に「レファレンス機能の充実」という文言を追加しました。</p>	2	②
8	<p>「読書に親しむ子どもを増やす」という点について、私は読書が好きなのだが、それは小さい頃に母からたくさん読み聞かせをしてもらったことが影響している。したがって、主要施策の「家庭における読書活動の推進」が重要ではないかと。</p>	<p>ご意見のとおり、乳幼児期に読み聞かせをしたり、子どもと一緒に本を読んだり、読んだ本の楽しかったことなどを話題にすることが、子どもに心地よさを感じさせ、読書の楽しさを知り、読書好きの子どもを増やす第一歩であると考えます。</p>	2	①
9	<p>不読率について、平日に限定せず、例えば「平日と土曜日・日曜日」との比較や、「一週間を通して」のデータのほうがより現実味があるのではないかと考える。P7の〈読書の対象〉にもあるように、「読書」には、「電子書籍」や「新聞」「何かを調べるために関係する資料を読むこと」も含まれることをもっと強調すべきである。更には、電子書籍や調べ学習も重点化をはかり、公共図書館ではレファレンスサービスを通してのフロアワークを充実、学校図書館では、教師との連携を図り、より良い選書ができるよう情報共有が必要。</p>	<p>読書には、紙媒体のものに加え、電子書籍等、タブレット等の電子機器で読むものを含むことを強調するため、本プランでは「読書の対象」という項目を新たに設けました。今後様々な機会を通じ、周知していきたいと考えています。市立図書館におけるレファレンスの充実、学校図書館職員と教員等の連携強化についても、取り組んでいきたいと考えています。なお、不読率についてご意見の趣旨は理解できますが、子どもの読書習慣の定着を図るには、平日にどれだけ読書を行っているかということが重要であると考え、指標として定めています。</p>	2	③

NO	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
10	<p>コアファンを増やすアクションとして、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前の子どもの読み聞かせが人格の発達と言語を学ぶ上で重要であることを認識させること</li> <li>・読書する大人や家庭を増やすこと</li> <li>・1人1台のタブレット端末と読書推進のあり方を検討すること</li> <li>・読書時間の定着を図り、習慣化することが考えられる。</li> </ul>	<p>ご意見のとおり、読書に親しむ子どもや読書が大好きな子ども(コアファン)を増やしていくためには、読書好きな大人・家庭を増やすことなどが重要と考えます。次期「子ども読書プラン」に基づき取組みを進めていきます。</p>	2	①
11	<p>「読書の大切さを知る子どもを増やす(コアファンを増やす)」について、子どもが良書を自ら選ぶためには、日常的に子ども達が学ぶ場である学校図書館のさらなる充実が大切と考える。</p> <p>また、公共図書館・学校図書館の選書も重要になってくると考える。選書にも多くの経験等が必要となり、双方が情報共有しつつの選書は連携という意味でも大切と考える。(例えば、公共図書館と学校図書館合同の選書会議など)</p>	<p>「(2)学校における読書活動の推進」の「②学校、学校図書館と市立図書館との連携強化」に記載のとおり、様々な取組みを通じ、学校、学校図書館と市立図書館との連携強化を図っていきたくと考えています。ご意見については、今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>	2	③
12	<p>「子どもの読書を支える大人を増やす。読書好きの大人・家庭を増やす」について、小学生では「親子で参加する読み聞かせ講習会」、中学生では「親子で参加する茶話会やお話会」などを通して親子で図書館に関わり、親子のコミュニケーションの場を設ける。また、「家庭教育学級」など、保護者向けの委員会活動をしている小学校や中学校がある。そういったPTA活動を利用して、まずは保護者が図書館に足を向ける方向性を定めるのも良いのではないか。</p>	<p>読書をする子どもを増やすには、大人の協力は欠かせません。今回、新たに「読書好きの大人・家庭を増やす」という方向性を加え、具体的な取組みを推進していきたくと考えています。ご意見については、今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>	2	③
13	<p>方向性Ⅲについては、容易でないと考えられるため、保護者への理解と協力を得る活動を、あらゆる機会をとらえ、継続的に実施していく必要がある。</p>	<p>方向性Ⅲ「子どもの読書を支える大人を増やす 読書好きの大人・家庭を増やす」について、様々な機会を通じ、啓発等を行っていきたくと考えています。</p>	2	①
14	<p>子ども達が本を読む気になるのは、周りの大人が楽しそうに読んでいる、面白そうな絵本が暮らしの中にあつて手に取りやすいことがありさえすれば良い。</p>	<p>ご意見のとおり、方向性Ⅲ「子どもの読書を支える大人を増やす 読書好きの大人・家庭を増やす」や「(5)読書活動の普及啓発の推進」の「④読書好きな大人・家庭を増やす取組みの展開」などに記載のとおり、身近に本があること、身近な大人が読書をしていることが、子どもの読書活動を推進する上で重要と考え、読書好きな大人・家庭を増やす取組みの検討などを行っていきたくと考えています。</p>	2	①

NO	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果	
「取組みの方針及び主要施策」に関するもの					
(1)「家庭における読書活動の推進」に関するもの					
15	母子手帳の交付と併せての絵本パック配布は大変良い取組みであり、今後も継続していく方向性は賛成。可能であれば、その次に子どもに与えるべき絵本の紹介等がパックの中に同封されると、購入もしくは図書館の利用が増えて、保護者の意識を高めることができるのではないかと。		「はじめての絵本事業」で絵本パックをお渡しする際には、0歳から2歳児向けのおすすめの絵本リスト、図書館カードの申込書などを同封しているところです。	2	①
16	母子手帳の交付と合わせて絵本パック配布を行うことは大変効果がある。ある地域では、検診待ち時間を利用し、ボランティアの読み聞かせと併せて、絵本を配布していると聞いた。		「はじめての絵本事業」で配布した絵本が効果的に活用されるよう、ご意見も参考に今後の取組みを進めていきたいと考えています。	2	③
17	「はじめての絵本事業」を実施するにあたり、妊婦さんを対象とした「読み聞かせ」や「読み聞かせ講習会」を実施して、実際に子どもへの「読み聞かせの方法」を伝えるべき。		「(1)家庭における読書活動の推進」の「②保護者による読み聞かせの実施」に記載のとおり、「はじめての絵本事業」で配布した絵本を使って、家庭で保護者による子どもへの読み聞かせなどが行われるよう取組みを進めていきたいと考えています。	2	①
18	ブックスタートは、赤ちゃんがうまれてからも実施すべき。母子手帳交付後と、もう一度、生まれた後に、絵本を渡す事業と二つに分けても良いはず。		以前、子どもの誕生後に絵本をプレゼントする「ブックスタート事業」を行っていましたが、平成28年10月から母子手帳交付時に配布することへ変更し、配布率は99%まで上がってきたところです。今後は、母子手帳交付時に配布した絵本が家庭等で効果的に活用されるための取組みを実施していきます。	2	③
19	子どもが読書に親しむ第一歩は、家庭や教師など、身近な大人が読書をする姿を子どもに見せることだと言われているため、「保護者による読み聞かせ」、「授業等を通じた読書習慣の形成」、の2つの施策に賛同する。保護者、学校の状況は多様なため、具体的方策を示すべき。		ご意見を参考にさせていただき、各種施策を実施する中で、効果的な取組みを行っていきたくと考えています。	2	③
20	プロジェクターで絵本を投影し、BGMを流しながら読み聞かせを行うロボホンというロボットを活用し、音楽を流しながら絵本の読み聞かせを行うと、子どもの読書への関心が高まるのではないかと。		「(1)家庭における読書活動の推進」の「⑤電子機器、動画等を活用した読書のきっかけづくり」に記載のとおり、読み聞かせ動画の配信の検討などを進めていくことを考えています。ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	2	③

NO	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
21	家族で1冊の本を読み、読書リレーをする。1番たくさん読んだ家族を表彰すると良い。	今後、1人でも多く、「読書に親しむ子どもを増やす」や「読書の大切さを知る子どもを増やす」ためには、ご提案の取組みも有効であると考えます。ご意見については、今後の取組みの参考とさせていただきます。	2	③
22	ノーテレビノーゲームと、本は、つなげてはいけない。関連性も因果関係もないし、本が嫌いになる。	「(1)家庭における読書活動の推進」の「④読書の日、読書カードの実践」に記載のとおり、次期「子ども読書プラン」では、「ノーテレビ・ノーゲーム・読書の日」ではなく、「読書の日」として実施していきます。	2	①
23	児童には、紙媒体のものだけでなく、電子機器、動画等を活用した読書のきっかけづくりは、新たな手法として効果的である。	電子書籍の貸出サービス(電子図書館)の導入や読み聞かせの動画配信の検討などを行い、子どもの読書活動を推進していきたいと考えています。	2	①
24	音読クラブ(zoomによるreading meeting)をいろんなジャンルで創設してはどうか。	「(1)家庭における読書活動の推進」の「⑤電子機器、動画等を活用した読書のきっかけづくり」に記載のとおり、読み聞かせ動画の配信の検討などを進めていくことを考えています。ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	2	③
25	児童生徒1人1台のタブレット端末が行き渡る中、読書活動の在り方についても、その状況に対応することの検討が必要と示されている。もっともだと思う。その際、①個人情報保護②有害サイトへのアクセス問題③コンピュータウイルス対策④Wi-Fi環境の問題⑤トラブルがあった時の解決手段などが考えられるが、学校だけでなく、図書館でも講習会等を行うなど、全体で取り組むべきと考える。	タブレット端末等電子機器を使った読書活動の推進に当たって、ご意見は今後の取組みの参考とさせていただきます。	2	③
(2)「学校における読書活動の推進」に関するもの				
26	学校の図書室が明るくなり、とてもありがたい。ただ、利用する生徒が毎回同じ顔触れなので、利用していない生徒にアピールする場が必要。	学校図書館をより多くの児童生徒に利用してもらえるよう、今後も教育委員会、学校とが協力し、学校図書館が魅力的になるような取組みを進めてまいります。	2	③
27	本のジャンル別のオススメ本(もしくは有名な本)を紹介するコーナーをつくと良い。	学校図書館や市立図書館が、子どもにとって利用しやすく、魅力的になるよう取組みを進めていきたいと考えています。ご意見については、今後の取組みの参考とさせていただきます。	2	③

NO	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
28	自分が通っている高校では、映画化された書籍をおすすめ本として、「図書館だより」に掲載し、配布したり、図書室の入り口に本と一緒に映画のチラシを掲示しており、そのような取組を行うと良い。	小中学校でも類似の取組を行っている学校もありますが、様々な趣向を凝らし、読書に関心をもってもらえるよう取組を進めていきたいと考えています。	2	③
29	学校では、学校図書館職員やブックヘルパーを大いに活用すべき。	「(2)学校における読書活動の推進」の「①学校図書館・学校図書館職員の利活用の促進」などに記載のとおり、学校において読書活動が推進されるよう、学校長、司書教諭、学校図書館職員などの連携強化等を図っていきたいと考えています。	2	①
30	学校図書館職員にも「読み聞かせ」「ブックトーク」「本の修理や補修」の養成講座を行ってほしい。	ご意見については、学校図書館職員向けの研修・講座を検討する際の参考とさせていただきます。	2	③
31	各学校に専任の学校図書館職員を配置すべき。どの家庭の子どもも「適書を適者に適時に」出会うチャンスがあるのが学校図書館である。	学校図書館職員については、今年度、63名を全小・中・特別支援学校に配置しました。それにより、学校図書館のクオリティが上がり、さらに、レファレンス機能も充実しました。今後も、学校図書館職員の数については、現状の63名を維持することで考えています。なお、今後の展開を図るに当たっては、学校として、学校長の学校経営方針のもと、学校マネジメントとして読書活動を推進していくことが重要と考えています。	2	③
32	週に1度学校図書館職員が来るが、週に4～5回来てほしい。		2	③
33	子どもに読書に、より関心を持ってもらえるよう、学校図書館職員の常駐が望まれる。		2	③
34	学校図書館は、子どもたちが本に触れる最も身近な場所である。学校図書館職員をできれば一校専任にして常時開館を可能にしたり、ブックヘルパーも子どもたちに的確なレファレンスができるよう研修会などの場を多く設けてほしい。		2	③
35	現在1人の学校図書館職員が3校もしくは4校を担当するの中で、「常時開設」は厳しいと感じる。 子どもが自由に、気軽に本を手にし、本と触れ合い、ホッと一息つく拠り所としての学校図書館を考える時、学校図書館職員の配置日数等の問題はそういった面を改善することの一翼を担える。学校図書館の環境整備にも力を入れていくことが大切である。		2	③

NO	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
36	報酬のランクを変更し、学校図書館職員の待遇を改善すべき。会計年度任用職員から教育委員会所属の正規職員となれる制度を作れば、モチベーションが高まる。	ご意見ありがとうございます。 学校図書館職員については、学校図書館の利活用など、学校における読書活動の推進を行う上で、欠かせない存在と考えています。	2	③
37	学校図書館はあらゆる情報の宝庫であって、それを積極的に提供し、支援すべき（レファレンスサービスの充実）。	「(2)学校における読書活動の推進」の「①学校図書館・学校図書館職員の利活用の促進」に記載のとおり、子どもへのレファレンスなど、学校図書館が「情報センター」等としてより機能するよう、取組みを進めています。 ご意見を踏まえ、「(2)学校における読書活動の推進」の「①学校図書館・学校図書館職員の利活用の促進」の本文に「レファレンス機能の充実」という文言を追加しました。	2	②
38	「学校図書館図書標準」を100%達成した上で、授業や学習に必要な資料を充実するなど「学習センター」としての充実、強化を図るべき。	「(2)学校における読書活動の推進」の「①学校図書館・学校図書館職員の利活用の促進」に記載のとおり、学校図書館が「読書センター」「学習センター」「情報センター」としてより機能するような取組みを進めていきたいと考えています。	2	①
39	「総合的な学習の時間」が教科に加わったことで、子どもの学校図書館の利用は増えているが、地域に密着した資料が少ない。	「(2)学校における読書活動の推進」の「①学校図書館・学校図書館職員の利活用の促進」に記載のとおり、図書館資料の充実など、子どもにとって利用しやすい学校図書館となるよう、取組みを進めていきます。	2	③
40	学校の図書室の蔵書も公共図書館に負けないくらいの幅広いジャンルの選書力もつけないといけない。そういった活動から、本のリクエスト、朝読チャンピオンや、朝読おすすめPOP会など、いろいろな読書活動にも広げやすくなる。	「(2)学校における読書活動の推進」の「①学校図書館・学校図書館職員の利活用の促進」に記載のとおり、図書館資料の充実など、子どもにとって利用しやすい学校図書館となるよう、取組みを進めていきます。	2	③
41	児童生徒や特に読むのがあまり得意でない子どもにもわかりやすい、「子ども向け」の郷土本のリストや郷土資料の作成があっても良いと考える。	シビックプライドの醸成等を図るには、地元作家の作品など郷土資料に触れることは非常に重要であると考えます。ご意見は今後の取組みの参考とさせていただきます。	2	③
42	学校でできることとして、学校の各学年の読書傾向から、低学年は図書室へ通う回数も多く、借りる冊数も多いが、学年が上がるにしたがって、図書室を利用しない児童が多くなっている。これを解決するために各学年で、週に一度の図書室の利用を推進するとともに、各学年の発達の段階に応じた目標冊数の設定をして、読書を推進していきたい。	ご意見ありがとうございます。	1	④

NO	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
43	学校でできることとして、学校図書館職員、ブックヘルパーと連携し、コロナ対策を踏まえ、児童が楽しく図書室を利用できるような図書館経営に努めたい。	ご意見ありがとうございます。	1	④
44	学校図書館を地域へ開くべき。	平日の16時から17時の時間帯で放課後児童クラブに開放している学校はありますが、昼間については各教科の授業に活用されており、一般利用は難しい面があると考えます。また、休日等についても、警備等施設管理の観点から同様と考えます。	2	③
45	子ども図書館と学校図書館の連携を図るため、地域開放型学校図書館を各区に設置し、「ミニ子ども図書館」とするべき。	学校図書館を地域に開放するには、平日は授業での利用との調整、休日等についても、警備等施設管理の観点から難しい面があります。ご意見については、今後の取組みの参考とさせていただきます。	2	③
46	子どもたちを取り巻く社会の現状を考えると学校や授業の時間に本とふれあうことはとても貴重な機会と捉えられる。小学校では読書の時間割があるが、小・中学校とも時間の確保が難しく、中学校では学校図書館の未利用者も多い。	ご意見のとおり、学校は子どもの読書を支援し、読書の大切さを学ぶ上で重要な役割を担っています。学校において読書活動が推進されるよう各種取組みを進めていきます。	2	①
47	学校としても、家庭への推進の一つとして、図書館見学を位置づけ、児童から家庭への周知も行っていきたい。	ご意見ありがとうございます。	1	④
48	子ども図書館と学校図書館の連携を図るため、北九州近郊にゆかりの作家についての「小中学生文学ツアー」を実施するべき。	「(2)学校における読書活動の推進」の「②学校、学校図書館と市立図書館との連携強化」に記載のとおり、新たな取組みとして、小学校在学中に各学校の実情に応じ、市立図書館の見学を実施していくこととしており、その中で地元作家の紹介などを実施していきたいと考えています。また、文学館など市内の文化施設とも相互協力し、取組みを進めていきます。	2	③
49	冊数より前に、本を身近にすることが読書推進の第一歩ではないか。そのためには、学校でのちょっとした読書の時間がとても大切なことである。ぜひ朝読時間を全学校に設けてもらいたい。	「(2)学校における読書活動の推進」の「③授業等を通じた読書習慣の形成」に記載のとおり、一斉読書時間の設定、担任や学校図書館職員、読み聞かせボランティア等による読み聞かせの実施などを通じ、各学校において読書活動が推進されるよう、働きかけを行っていきたくと考えています。	2	③



NO	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
50	学校では、学級文庫や廊下に絵本を置いたり、学校の暮らしの中に日常的に本がある状態を作れば良い。	ご意見にある取組みを行っている学校もあります。読書活動を推進する効果的な取組みについては、積極的に情報提供し、取り組んでもらえるよう学校に働きかけていきたいと考えています。 ご意見を踏まえ、「(2)学校における読書活動の推進」の「③授業等を通じた読書習慣の形成」の本文に「学級文庫など本が身近にある環境の整備の充実」という文言を追加しました。	2	②
51	国語の授業などで図書室を利用したおすすめ本のポップを作る授業をすると良い。	「(2)学校における読書活動の推進」の「③授業等を通じた読書習慣の形成」に記載のとおり、様々な機会を通じて、各学校において読書活動が推進されるよう、働きかけを行っていきたくと考えています。ご意見については、今後の取組みの参考とさせていただきます。	2	③
52	ビブリオバトル(本好きな子にも活躍の場を設ける為)を各学校で推進すべき。	「(2)学校における読書活動の推進」の「④読書を通じた交流の実施」の取組みを行う中で、ビブリオバトルの実施を各学校に働きかけていきたくと考えています。	2	①
53	学校における読書活動の推進での④ビブリオバトルの会場を学校間で行うだけでなく、例えば、「zoomやSkypeなどを活用して、リモートで子ども図書館等で流す」「DVDに編集して子ども図書館で提示する」などの啓発もできるのではないかな。	ご意見については、今後、ビブリオバトルを実施する際の参考とさせていただきます。	2	③
(3)「市立図書館における読書活動の推進」に関するもの				
54	読書の「バリアフリー」化の推進について、単に蔵書の問題だけでなく、「合理的配慮」についての検討も必要となってくる。 ①館内移動の補助を含む来館移動の援助 ②段差などでの車椅子の持ち上げ、高い書架の本の取り出しなど物理的環境の配慮 ③点字・手話・音声・拡大図書などによる意思疎通の配慮 ④館内整備の使用補助や説明(館内利用端末含む) ⑤登録用紙などの代筆・内容等の簡単な読み上げなどサービスそのものの利用支援 ⑥座席の事前確保や点字・音声・拡大などでの配布資料などイベント配慮なども必要。	ご意見のとおり、「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(読書バリアフリー法)」を踏まえ、誰もが気軽に利用しやすい図書館を目指し、円滑な利用のための支援等も含めた取組みが必要となると考えています。 ご意見を踏まえ、「(3)市立図書館における読書活動の推進」の「①読書の「バリアフリー」化の推進」の本文に「円滑な利用のための支援の充実」などの文言を追加しました。	2	②

NO	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
55	図書館には時に人寄せのイベントは必要ありません。奇をてらった大人数のイベントではなく、地域の生活や暮らしに密着した集いがあると良い。市民センターとの連携や、図書館自体の学習室の充実も望まれる。	市立図書館に来たことがない子どもや保護者の来館を促すため、趣向を凝らした様々な魅力的なイベントの実施など、来館のきっかけづくりは行っていきたくと考えています。 市民センターとの連携は「(4)地域(子育て関連施設、市民センターなど)における読書活動の推進」で、取り組んでいきたくと考えています。	2	③
56	本を通じた、輪読会や読書会のようなものを、図書館で定期的実施すべき。全ての図書館でいわゆる読書会をスタイリッシュに行うべき。	読書会等については、新型コロナウイルス感染拡大以前は、大半の市立図書館で定期的実施していたところです。	2	①
57	AI・ドローン・ロボットなど、最新のテクノロジーが図書館にも導入されている。図書館がより効果的に運営され、快適な場所にする技術に期待している。	ご意見ありがとうございます。今後の取組みの参考とさせていただきます。	2	④
58	子ども電子図書館やSNSでの情報発信などの案がありますが、それに関連してタブレットを使った読書の仕方などを教えてもらえる場があると良い。	ご意見ありがとうございます。今後の取組みの参考とさせていただきます。	2	③
59	ティーンズ層や大人の読書好きを増やすためにも、電子書籍の貸出を積極的に実施するとよいのではないか。	現在、子ども向け電子図書館の開設に向け、準備を進めており、まずは、子ども向け電子書籍の貸出からスタートし、その利用状況等を見ながら、大人向けへの拡大を検討したいと考えています。	2	①
60	図書館へなかなか行けない児童への対応も必要になると考える。(市民センターとの連携や電子図書等)	ご意見のとおり、子ども向け電子図書館の整備や、市民センターの「ひまわり文庫」の充実などを通じて、読書活動の推進が図られるよう取組みを進めていきます。	2	①
61	子ども電子図書館に賛同するが、市立図書館全体のシステム更新も実施してほしい。	ご意見ありがとうございます。市立図書館システムの更新については、然るべき時期に行うことを考えています。	2	④
62	子ども図書館を大いに活用すべき。	子ども図書館を多くの子どもや保護者に知ってもらい、利用してもらおう、PR等を行っていきます。	2	③

NO	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
63	北九州市共通の小学校用の読書通帳を作成し、各学校に配布すると良い。	「(3)市立図書館における読書活動の推進」の「⑤読書通帳機の拡充」に記載のとおり、まずは子ども図書館以外の市立図書館への機器の配置の拡充について検討していきたいと考えています。	2	③
64	読書通帳が学校図書館でも使えるようになれば、子どもの読書意欲が高まるのではないか。		2	③
65	子ども図書館を「学校読み聞かせボランティア」のキーステーションにするべき。子ども図書館が中心となり、読み聞かせボランティアの活動の拡充・人材育成と連携を図る。	「(3)市立図書館における読書活動の推進」の「④子ども図書館と地区図書館との連携強化」、「⑥読書ボランティアなどの育成・支援」に記載のとおり、市内で活動されている読書ボランティアについては、子ども図書館が力強くリーダーシップを発揮し、地区図書館と連携し、派遣、人材育成等を行っていききたいと考えています。ご意見を踏まえ、「(3)市立図書館における読書活動の推進」の「⑥読書ボランティアなどの育成・支援」の本文に「市立図書館や学校など市内で活動している」という文言を追加しました。	2	②
66	コロナ禍で飛沫感染を懸念して停滞気味になっている「読み聞かせ」「ブックトーク」などのボランティア活動の安全な体制づくりが必要である。また、特別支援学校専用の読み聞かせボランティアの育成にもっと積極的に取り組むことが大切と考える。	市立図書館では、コロナ禍での「読み聞かせ」などの図書館行事を安全に実施するため、参加者全員の検温、換気、距離の確保、マスク着用などの対応を定めているところです。特別支援学校で活動するボランティアの育成については、今後の取組みの参考とさせていただきます。	2	③
67	ジュニアサポーター養成も、まずは、図書館司書や本を読む大人との交流があって初めて、それをモデルに子ども達は育っていく。	ご意見のとおり、図書館司書や読書好きな大人のサポートが不可欠であると考えます。	2	①
(4)「地域における読書活動の推進」に関するもの				
68	最近の社会事情を考えると、家庭とともに幼稚園、保育園での読書への取組みを提案してよいのではないかと。就学前の読書への関心や習慣が大切である。	幼稚園、保育園等での読書活動の推進は大切だと考えており、「(4)地域(子育て関連施設、市民センターなど)における読書活動の推進」の「①幼稚園・保育所等における読み聞かせ、貸出の推進・支援」などの中で、その取組みを行っていきます。	2	①
69	近くの市民センターなどで図書館の本の受取・返却等の手続きができるとうい。	現在、市立図書館では、他館の本についても予約、受取、返却できる制度を導入しています。また、市民センターにはひまわり文庫を設置しており、本を借りることができます。	2	④

NO	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
70	移動図書館を復活してほしい。	本市では、市民センターにひまわり文庫、子育て関連施設に団体貸出文庫の設置を行っているところです。ご意見については、今後の取組みの参考とさせていただきます。	2	③
71	遠方の子ども達も本に親しみ、自分達から「公共図書館に行きたい」と思えるように、移動図書館ができないか。		2	③
72	子ども食堂や放課後児童クラブなどへの「絵本トラック」活動の出前を行う。絵本トラックは、読み聞かせや紙芝居の出店機能を持ち、市内のあちこちに本や絵本を出前してくれる。		2	③
73	子ども図書館が、公園などにおける屋外型の図書館活動にトライアルしてはどうか。ノルウエーの街中の大きな公園には、屋外に自由に借りられる本棚がある。	「(4)地域(子育て関連施設、市民センターなど)における読書活動の推進」の「⑤子どもが集まる商業・レジャー施設などとの協力の検討」に記載のとおり、まずは、図書館が子どもが集まる様々な場所に出向き、読書活動を推進していきたいと考えています。	2	③
74	商業施設で読み聞かせなどの図書館活動を実践すべき。	「(4)地域(子育て関連施設、市民センターなど)における読書活動の推進」の「⑤子どもが集まる商業・レジャー施設などとの協力の検討」に記載のとおり、図書館が子どもが集まる様々な場所に出向き、読書活動を推進していきたいと考えています。	2	①
75	子どもが集まる商業・レジャー施設などとの協力の検討について、「おもちゃ病院」ならぬ「本の病院」の実施を行うべき。これからの子どもたちに、本が皆のもので、本を共有し、大切にす気持ちを持ってもらうためにも、まずは、自身(家庭)の本の修理を通し、「本は大切に扱わないといけない」という心の成長を期待したい。	ご意見については、商業施設、レジャー施設など、子どもが集まる様々な施設と相互協力ができないか検討を行っていく際の参考とさせていただきます。	2	③
(5)「読書活動の普及啓発の推進」に関するもの				
76	若者が図書館に来るきっかけを作るには、SNSで、漫画やノベルの紹介を発信し、綺麗な装丁の本を図書館で貸し出せば良い。	「(5)読書活動の普及啓発の推進」の「②SNS等を使った情報発信、双方向性をもったやり取りの実施」に記載のとおり、SNS等での情報発信を行い、ティーンズ層の取り込みを図っていきたくと考えています。	2	③

NO	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
77	ティーンズ(ヤングアダルト)層で、そもそも興味がない人は、あまり図書館等に足を運ばないと思われるので、別の場所からの発信が必要である。動画配信サイトやSNS等を使った情報発信を活用すべき。		「(5)読書活動の普及啓発の推進」の「②SNS等を使った情報発信、双方向性をもったやり取りの実施」に記載のとおり、新たな取組みとして、SNS等での情報発信を行い、ティーンズ層の取り込みを図っていきたいと考えています。	2 ①
78	ヤングアダルトよりティーンズという呼称が分かりやすい。	ご意見ありがとうございます。	1	④
79	親と一緒に読みながら、面白さに気付いたり、その親同士の交流などが保障されて初めて、家庭での読書は意味がある。親である必要はなく、地域の大人や、様々な機会、本が大好きな人たちに接することの方が、ずっと大事である。	ご意見のとおり、「(5)読書活動の普及啓発の推進」の「④読書好きな大人・家庭を増やす取組みの展開」に記載のとおり、身近な大人が読書好きであることが、子どもの読書活動を推進する上で重要と考え、読書好きな大人・家庭を増やす取組みを検討したいと考えています。	2	①
80	多様なブッククラブ(リアルでもオンラインでも)の創設を行うべき。 例えば、 ・ゲーム「図書館sw」を楽しむ会 ・オーディブルによる「みんなで聴く読書会」 ・ジャンル別「ミステリー大好きブッククラブ」 など多様なジャンルの読書コミュニティができれば、啓発につながるのではないかと。	読書好きの輪を広げていくには、様々な人が集まり、情報交換などが行えるコミュニティは重要であると考えます。ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	2	③
その他				
81	「いかに本を読むか」の情報交換の場があると良い。	読書好きの輪を広げていくには、様々な人が集まり、情報交換などができるコミュニティは重要であると考えます。ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	2	③
82	学校の先生や親など子どもにとって身近な大人が昔(子どもの頃)好きだった本を紹介すると良い。	家庭、学校などで読書活動が推進されるには読書好きな大人のサポートは欠かせません。ご意見については、今後の取組みの参考とさせていただきます。	2	③
83	コロナで旅行に行くのは難しいが、「想像力は無限大！本があればどこにでも行ける！」を題材に特集(ファンタジー、旅行記、ミステリー等)を組むと良い。	今後、一人でも多く、「読書に親しむ子どもを増やす」や「読書の大切さを知る子どもを増やす」ためには、ご提案の取組みも有効であると考えます。ご意見については、今後の取組みの参考とさせていただきます。	2	③
84	本の最後のページに紙を貼り、本の感想や今、頑張っていること、悩みごと等を自由に書き込めるようにすると良い。		2	③

NO	意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
85	物語の続きを考える。自分が読んだ本の結末の続きがどうなるのかを想像して新しい物語を作ると良い。	今後、一人でも多く、「読書に親しむ子どもを増やす」や「読書の大切さを知る子どもを増やす」ためには、ご提案の取組みも有効であると考えます。ご意見については、今後の取組みの参考とさせていただきます。	2	③
86	前読んだ人が自由にしおりにメッセージや絵を書き本のどこかに挟む。コロナで人と会えない状況が続くが、これで誰かとつながっている感覚になれるではないか。		2	③
87	本好きな子ども達が、もっと好きになる方法は、大好きな本を、みんなに紹介して、共有すること。1年間1月1冊ずつ紹介し続けたら、1年後に、お誕生日に1冊好きな絵本がプレゼントされる「ブックプレゼント」をしてみてもどうか。	ご意見については、今後の取組みの参考とさせていただきます。	2	③
88	子ども図書館内に「世界の絵本と地図コーナー」があることは大変良いと思うが、活用している動きがないのは惜しい。今年3月発売予定の「マスク」に装着する「C-FACE」という物は声がスマホ(アプリ)などに文字化される機能がある。(8か国語の翻訳可)これを図書館が購入して、英文を音読できる図書館職員がいれば、多国籍の文字化ができて、異文化交流とバリアフリーになって「世界の絵本コーナー」の存在価値が出る。	ご意見ありがとうございます。子ども図書館の特色である「世界の絵本と地図のコーナー」をより活用できるよう、ご意見も参考に取組みを検討していきます。	2	③
89	公共図書館として機能させるために、正規職員の司書を配置することが必要。今後5年間の職員体制をどうするかが示されていない。市立図書館の館長も知識と経験を持った正規職員を配置すべき。	ご意見ありがとうございます。職員体制については人事に関わることであり、本プランの対象ではないと考えています。	3	④
90	公共図書館を通じて、学校のタブレット端末でも大型図書のネット活用ができるようにできないか。また、劣化が著しい大型図書に関しても、公共図書館で資料を一時預かりできるような環境ができれば良い。	「(3)市立図書館における読書活動の推進」の「③非来館型サービスの導入など機能の充実」に記載のとおり、まずは子ども向けの電子図書館の開設を行っていきたいと考えています。資料の一時預かりについては、市立図書館も、所蔵スペースに限りあるため、現時点では難しいと考えます。	2	③
91	今後も、他の自治体の取組みに関する情報収集を行い、継続してもらいたい。高校生の不読率の改善について、市内の高校は取組みを実施しているのか、市と情報交換をしているのか実態を知りたい。	他の自治体の取組みについては、今後も情報収集し、取組みの参考としていきたいと考えています。高校生の不読率改善の取組みについて、市内の高校との情報交換は行っていないのが現状です。	2	③